

特定建築物排出量削減計画書

(宛先) 京都府知事	平成 27 年 4 月 15 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市左京区吉田本町36番地1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 国立大学法人京都大学 学長 山極 壽一

工 事 の 種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築			
工事着工予定年月日	平成 27 年 11 月 23 日			
工事完了予定年月日	平成 28 年 4 月 28 日			
特定建築物 の概要	名 称	京都大学（木津川）農学研究科附属農場 本館		
	所 在 地	京都府木津川市内相楽都市計画事業 木津中央特定土地区画整理事業区域内1-2街区1画の一部		
	構 造	鉄筋コンクリート造	階 数	地 上 3 階 地 下 階
	敷 地 面 積	246,190.96 平方メートル	高 さ	15.1 メートル
	建 築 面 積	1,400.78 平方メートル	床 面 積 の 合 計 (増築部分の床面積)	3,395.47 平方メートル (平方メートル)
	用途別の床面積	住 宅	平方メートル	
		ホ テ ル 等		
		病 院 等		
		物品販売業を営む店舗等		
		事 務 所 等		
学 校 等		3,395.47平方メートル		
飲 食 店 等				
集 会 所 等				
工 場 等				
特定建築物の環境の保全についての配慮に係る性能に関する評価結果	BEE=1.5 A			

府内産木材等の使用	府内産木材等の種類と使用量	①第11条の2第1号ア該当木材等 ②第11条の2第1号イ該当木材等 ③第11条の2第2号該当木材等 ④第11条の2第3号該当木材等 府内産木材等の使用量の合計量 (①+②+③+④)	7.00 7.00	立方メートル 立方メートル 立方メートル 立方メートル 立方メートル
	使用する用途	天井ルーバー、天井化粧梁		
	府内産木材等の使用基準量	1.55 立方メートル		
	当該建築物における木材の使用量の合計量	7.00 立方メートル		
	木材が使用可能な居室の合計面積	1,008.08 平方メートル		
再生可能エネルギーを利用するための設備の導入	再生可能エネルギーを利用するための設備の種類	年間で利用可能な再生可能エネルギーの量		
	①太陽光	4,434,944 メガジュール		
	②風力	メガジュール		
	③水力	メガジュール		
	④地熱	メガジュール		
	⑤太陽熱	メガジュール		
	⑥バイオマス	メガジュール		
	⑦その他()	メガジュール		
再生可能エネルギーの利用量の合計量 (①+②+③+④+⑤+⑥+⑦)	4,434,944 メガジュール			
温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施する措置		概 要		
■ 外壁、屋根又は床の断熱	屋根部 押出法ポリスチレンフォーム 厚さ50mm 外壁部 吹付け硬質ウレタンフォーム 厚さ50mm			
■ 窓の断熱又は日射の遮蔽	遮熱低放射複層ガラス (Low-Eペアガラスの採用)			
■ エネルギー消費効率の高い設備の導入	LED照明の採用			
■ 環境への負荷が少ない材料の利用	型枠用ブロックやPC外壁パネル採用による南洋材型枠の削減			
■ 節水型設備の設置	自動水栓、節水型大便器、自動洗浄小便器の採用			
<input type="checkbox"/> 雨水、雑排水等の利用				
<input type="checkbox"/> 耐用年数が長い材料及び設備の利用				
■ 建築物の維持管理の容易性に対する配慮	設備スペースの集約			
■ 緑化の実施	実験実習用の緑地を整備			
■ その他	自然採光システムの採用			

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。

2 この計画書には、次に掲げる事項が分かる書類を添付してください。

(1) 再生可能エネルギーを利用するために導入しようとする設備の内容

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減を図るために実施しようとする措置の内容

3 「府内産木材等の使用基準量」には、第22条第3項の規定により算出した数値を記入の上、その算出の根拠となる資料を添付してください。